

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		わくわくエジソンすみよし帝塚山教室		公表日 令和8年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	目的によって配置されている。遊ぶ部屋と学ぶ場所が分けられていて良いと思います。	バリアフリーではない。階段危ない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	あべの教室とすみよし教室で利用人数に合わせてヘルプを出している点は良いと思います。	送迎の時間によっては難しい場合もある。人数が少ないときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	絵やイラストで分かりやすくなっていると思います。学習室とブレイルームに分かれている。	バリアフリーではない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	休む部屋など工夫されている。清潔にしている。部屋がわかれている。	整理整頓されています。ただ、外に出たがる子供が多いのに対し、外で遊ぶスペースがないところは改善したほうが良いと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	小部屋に本が沢山あり、そこでくつろげるようになっていて良いと思います。部屋が分かれている。個室がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員会議は都度しており、その情報も共有されています。教室会議週一やスタッフ会議月一開催している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	連絡帳や送りの際に傾聴している。保護者の話を聞いて、何が出来るか考えています。評価表を元にミーティングしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	子供たちが帰った後、職員同士で話しています。コミュニケーションを心掛けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	実地調査が行われている。数中先生に来ていただき、改善できています。	第三者機関は無い
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月学習会が行われていて、各教室との意見交換ができています。初級、中級、上級の研修会を開催している。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	連絡帳にて記載。保護者や学校などとも共有し合い、作成できていると思います。児発官が指導員に指示している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	個別に傾聴している。一人一人に対して何が必要かをしっかり考えられています。利用者別に学習指導。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	教室会議にて話し合いをしている。共有している。	詳しく知りません。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	教室会議にて発表して共有している	支援計画書を見る機会があまりありません。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	連絡帳の記録をパソコンで入力する際、日々の行動や言動が書いてあります。観察している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	75%	25%	様々な点から各々に合った支援を考えていると思います。	移行支援が多少不足している。家族支援はできていても地域支援は難しい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	事前に分担をし、チームの全員がプログラムで活躍できるようになっています。教室会議にて話し合いしている	

× 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%	日々更新している。 それぞれがアイデアを出し合い、できるだけ同じことをしないようにしています。年齢や利用人数にも合わせて変えているところが工夫できています。	変化が多少不足
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	子供たちの変化に気づいて都度更新されていると思います。 改善点無し。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	役割分担ができています。 現状で良い。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	疑問点や改善点を職員同士が話しやすい環境になっています。 送迎終わりに話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	些細な変化に気づき、何ができるか常に考えられています。 教室会議にて話し合い。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	教室以外でも管理者が電話で保護者と話をしている場面がよく見受けられるので、家庭とエジソン両方でモニタリングがしっかりできていると思います。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%	全ての要素を組み合わせられるよう、日々支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	おやつは4つ、自分で選ぶようにしてもらっています。自由時間も何がしたいか自分で考えて行動しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	エジソンでしか見せない顔を知っている理解者がいます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	体制はわからないが、情報の共有をしている。 協力医療機関がある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	メモ用紙に、何時にお迎えが必要か学校側に記載してもらっています。エジソンの送迎車の到着時間、学校の送迎車の到着時間を記録して、できるだけ齟齬のないようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	細かく共有しています。 頻繁に挨拶に行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%	勤務してからまだ実際にそのような利用者は見ていないが、していると思われる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	必要に応じてしている	地域支援は難しい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	イベントなどで機会がある	あまりないと思うので、関わりを持てるように改善したいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	25%	75%		参加できていません。 中々機会がない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡帳で共通理解ができるようになっていきます。 保護者とは連絡を取っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	クッキングなど親子で参加できるイベントがあり、そこでも共有できています。 親子イベントを行なっている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	事前の説明は詳しく行われています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	75%	25%	子どもと保護者、両方の意見を聞く機会はよくあります。	子供によっては意志疎通が難しい
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	よく管理者がしています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者の気持ちが楽になるように対応できています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	イベントで保護者やきょうだいも参加できるようになっています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	早急に対応し、チャットで共有できています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	Instagramに力を入れて、日々職員が様子を伝えています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	シュレッダーや棚に鍵をかけるなど、工夫しています。 鍵のある書棚に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	配慮ができています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	近くの音楽祭などに来店するようにしている	地域住民との関わり難しい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	訓練は適度に行われています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	都度行われています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	事前に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	少しの成分も見逃さないよう対応しています。	医師の指示書は無い
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	災害用の備蓄もしっかりあります。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	すぐに共有され、再発防止に取り組んでいます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	都度研修が行われています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	記載している	分かりません。	